

発行／公益社団法人山梨県看護協会 〒400-0807 甲府市東光寺2丁目25-1 TEL (055) 226-4288 FAX (055) 222-5988
発行責任者／佐藤悦子 印刷／有限会社クリップ



富士吉田市／富士と金鳥居

笑顔 スナップ

富士吉田市立看護専門学校
地域に貢献できる有能な看護師を育成しています。



令和4年度の学生満足度調査、94%が学校生活に満足



校長を囲んで私たち7名は卒業生



学生とより良い学校づくりを
めざしています



看護師国家試験10年連続全合格

Contents

2022年度山梨看護学会開催報告	2
やまなしリトルベビーハンドブック作成	3
安心して働き続けられる職場環境を作るためには	4
災害支援ナース派遣体制の新たな仕組み	4
未来のいしずえ賞受賞者紹介	5
うちの職場自慢 その68	6
シリーズキャリアアップへの耳寄り情報 No.4	6
ナースのママ・パパ奮闘記 No.55	7
Topic&Information	7
令和4年度 理事会報告	8
INFORMATION／編集後記	8

看護職のあなたをサポート
会員特典もいろいろ!!

山梨県看護協会への
入会手続きはお早めに!!



2022年度 山梨看護学会 開催報告

～多くの方にご参加をいただきありがとうございました～

山梨看護学会委員会委員長 窪川 理英

今年度の山梨県看護学会のテーマは、COVID-19患者への対応等で翻弄されている看護職の看護の力を継続させなければならないだろうと考え、『看護をつなぐ』にしました。

『看護をつなぐ』には多くの意味があります。誰をつなぐのか、何を繋ぐのか、一人ひとりのつなぐがあると思います。学会のプログラムは、多くの方に参加していただけるよう企画しました。15題の研究発表、佐藤悦子学会長の基調講演「看護がつながることの意味」を基軸に、交流会1「次世代を担う看護職の今と未来」、交流会2「一人ひとりの思いをつなぐ看護」、また、多くの方の「つなぐ」を伝えることができるよう「看護をつなぐ一言写真」を募集し、素敵な看護現場や皆さんの笑顔が届けられました。

3年連続のWEB開催となりましたが、今年度は看護職だけでなく次世代を担う看護学生の参加も得て、総勢247人の参加者でした。アンケートでは、「身近な事に目を向けた研究発表で参考になった」「つなぐ看護の必要性（大切さ）を改めて感じた」「（交流会では）それぞれの立場から意見交換されていて、思いを感じた」「WEB開催であったが沢山の工夫があり興味深く視聴できた」「オンラインであったので参加しやすかった」「全体のプログラムが欲しかった」等多くの意見が寄せられました。

次年度に向けても、開催方法の検討やより多くの方に興味関心を持って参加していただける企画等をしていきたいと思います。今後も山梨看護学会が、どのような社会状況にあっても、様々な看護職の方が看護を考え、語る場として発展することを願っています。



▲セッション2
「一人ひとりの
思いをつなぐ看護」
発表者



演題発表
収録風景

2022年度 山梨看護学会 看護研究奨励賞

受賞者3人から
メッセージをいただきました

訪問看護師が捉えるせん妄を発症した在宅療養者への看護の実践



公益社団法人山梨県看護協会
ゆうき訪問看護ステーション 田中 美江

この様な大変光栄な賞をいただき心から感謝いたします。私は「在宅療養中にせん妄を発症した療養者を前にどのような看護ができるのか？」と考えたことがきっかけで研究を始めました。研究で得られた結果を基に、今後も療養者の生活の質が向上するための看護実践に取り組んでいきたいと思っています。

看護実践における方言使用の一考察



甲州市立勝沼病院 味山 亜矢子

今回の研究では、看護の場面や状況、対象により方言は、意識して活用し、丁寧語との使い分けの大切さを学ぶことが出来ました。相手の自尊心を大切に、看護に方言の力を！

光栄な賞を頂き本当に感謝申し上げます。

手洗いチェッカーによる洗い残し確認がもたらす手洗い方法改善の意識変化
日々の活動への手応え



峡南医療センター市川三郷病院 小林 緑

院内でのICT活動の成果を発表し、看護研究奨励賞をいただけたことは大変光栄に思います。手洗いは感染対策の基本であり、全職員が獲得すべき技術であると思っています。今回の受賞を励みに、ICT活動を活発化し院内の感染対策の向上につなげていきたいと思っています。

やまなしリトルベビーハンドブック 低出生体重児の育児不安軽減



山梨県は「子育てしやすさ日本一」の実現に向けて結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目のないきめ細かな支援を、医療機関・市町村等との連携により行っています。その一環として、小さく生まれた赤ちゃんとその家族を支援するため、母子健康手帳と一緒に使える、「やまなしリトルベビーハンドブック」を作成しました。昨年末までに、山梨県を含め全国では12県が運用しています。

山梨県子育て支援局
子育て政策課

大船 朋美

山梨県の将来を担う子どもの育成や子育て環境の整備は、本県の最も重要な課題の一つです。

県内では毎年、低出生体重児（体重2500グラム未満）は約1割、極低出生体重児（1500グラム未満）は約50人出生しています。こうした赤ちゃんは、通常と比べて発達がゆっくりと進むことが多く、母子健康手帳では成長や発達の確認が難しい場合があります。思ったように記録できない母子健康手帳を見るたびに落ち込んでしまうなど、家族の悩みや不安は大きくなってしまいがちです。

県では、こうした家族の心理的な負担を和らげるため、小さく産まれた赤ちゃんの成長や発達の特徴を踏まえた手帳の作成をすることとしました。作成にあたり、県内の98%の極低出生体重児が生まれる山梨県立中央病院総合周産期母子医療センター医師・看護師や助産師会、保健所、市町村保健師、低出生体重児や先天性疾病を持つ子やその親が集う育児サークルの代表者で構成する検討会を設置しました。

保護者の気持ちや専門家の意見を聴きながら、議論を進め、令和3年度末に、低出生体重児の特徴や先輩ママ・パパからのメッセージなどを盛り込んだ「やまなしリトルベビーハンドブック」が完成しました。

やまなしリトルベビーハンドブックは、極低出生体重児や、低出生体重児で、特に支援が必要な子の保護者を対象とし、これから出産する方は県立中央病院で、3歳ごろまでの極低出生体重児を育てる方には市町村を通じて配布しています。母子健康手帳と一緒に赤ちゃんの成長記録として活用してもらい、小さく生まれた赤ちゃんやその家族の皆さんのサポートにつながることを願っています。

作成までの経緯、担当者の思いの詳細は、「やまなし in depth

<https://yamanashi.media/>

も参照してください。



※本記事は県広報「ふれあい」、「やまなし in depth」の掲載内容に一部加筆修正したものです。



ひとりひとりの個性を重視し、出来るようになった日を記入できる記録ページや低出生体重児の発達の特徴と対応方法に関する情報のまとめなど、機能性も重視した内容になっています。

表紙、裏表紙には、小さな芽が大きくなって大樹になることをイメージしたイラストを載せたり、ドット柄を用いた枠デザインは、個性をもったいろいろな子どもがいることをイメージするなど、保護者の皆様に応援する気持ちがたくさん詰まっています。

医療機関からの声

山梨県立中央病院では令和4年4月から1500g以下の赤ちゃんを対象に配布し始め、現在42冊お渡ししました。ママ達からは「ハンドブックに書いてある先輩ママからのメッセージに勇気をもらった」「成長を記入する欄に初めて抱っこした日等NICUにいる時の事をたくさん書いた」という声をいただいています。不安はたくさんあると思いますが、子供の成長や喜びを記録して、できないことなく、「できたこと」が見つけれられるサポートをしていきたいです。

市町村保健師からの声

小さく生まれた赤ちゃんの成長記録は、なかなか母子手帳では補いきれません。お子さんの成長発達とご両親の思い、病院や保健師、福祉の情報をつなぐ大切な役割を果たすサポートブックです。

一番身近にいるのが、市町村の保健師です。いつでも、なんでもお気軽にご相談ください。



安心して働き続けられる職場環境 (ヘルシーワークプレイス)を作るためには —労働安全衛生ガイドラインを活用した職場環境調整について学びましょう—

■ 研修開催報告と今年度の研修開催案内

社会経済福祉委員会 委員長

初鹿野 由美子

令和4年度、社会経済福祉委員会では、「労働安全衛生ガイドライン—ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して—」の周知・普及を目的とした研修会を県内60病院の看護部長（それに準ずる職位の方）を対象に12月・1月の2回開催しました。

コロナ第8波と重なり多忙中、両日合わせて18人が参加し、日本看護協会オンデマンド配信「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して！」の視聴と、グループワークにおいては自施設の課題や、他施設の取り組み内容について活発に意見交換が行われました。参加した管理者からは、「コロナ禍でこのような情報交換の場がなかったので、研修に参加して良かった」という意見を多数いただきました。

山梨県では、全国に比べてヘルシーワークプレイスの取り組みが浸透していないことが課題となっています。健康で安全な職場を作るためには、看護管理者の理解と協力が不可欠であり、令和5年度も、看護部長（それに準ずる職位の方）を対象として、県内60病院の80%が研修に参加してもらえよう、研修日程を2023年度教育計画（タブロイド判）及び教育計画冊子に掲載し、広報活動に

も力を入れていきたいと思っています。また、研修対象を看護師長にも拡大し、視点を変えた取り組みが行えるように以下の日程で研修会を開催します。

①7月5日(水) ②8月21日(月) ③11月14日(火) ④12月13日(水)
いずれも10:00～15:00 同じ内容です。

皆様のご参加をお待ちしています。



オンデマンド
視聴



グループワーク

重要

『災害支援ナース派遣体制』が2024年度から 新たな仕組みでの運用開始となります



感染症法・医療法改正により、国は災害と感染症に対応する看護職員の養成・派遣・確保を一体的な仕組みのもとで行うこととしました。（2024年4月1日施行）これを受けて日本看護協会は、日本看護協会主体で派遣調整を行う災害支援ナースの仕組みを従来のものから転換して、国主導による新たな応援派遣体制を構築していくこととしました。

◆ 現行の災害支援ナースについて

- 「災害支援ナース派遣」2024年3月31日をもって終了。
- 現行の災害支援ナース育成研修は2022年度をもって終了。
- 2023年度の災害発生時の対応については、現行の仕組みのもと災害支援ナースの派遣調整を行う。

◆ 新しい仕組み 自然災害、感染症支援に係る看護職の 応援派遣体制を整備

- 2024年4月1日施行
- 2023年度から、養成研修を実施。
 - * 研修内容：災害・感染症に係る応援派遣に対応できる看護職向け研修「総論」「災害各論」「感染症各論」「演習」
 - * 研修方法：オンデマンド研修（4日間）と集合研修（2日間）計6日間 6月開始予定 受講料無料
 - * その他：研修の一部受講免除がある予定です。
 - ※災害支援ナース登録者には、通知にてお知らせします。研修要項が決定次第、研修案内をします。
 - ※日本看護協会ニュース661号をご参照ください。

受賞に輝いた 花輪啓子さんをご紹介します。

「未来のいしずえ賞」は、未来に向かって豊かな社会の礎を築くために目標に向け強い意志をもって活動し、人知れず努力を重ね、貢献した方々の功績を讃える国際賞です。

2018年よりスタートし、スポーツ部門・医療部門・保健福祉部門・教育部門・社会活性化部門の5部門で、世のため人のため、強い意志をもって努力されている方々を顕彰しています。「第6回未来のいしずえ賞」は例年とは異なり、長引くコロナ禍で、度重なる医療崩壊の瀬戸際を、その都度陰で支え続け、医療機関だけではなく訪問看護や福祉関連施設など地域の中でも人々の命と生活を支え続けてきた看護師の方々と、コロナ禍で沈む日本人の心を奮い立たせた世界的に活躍された方に対して、受賞者が選定されました。

<https://www.kodama-mirai.org/mirai/info/> ←ぜひ覗いてみてください

本県の花輪さんは、日本看護協会長推薦により訪問看護分野での表彰をめでたく受賞されました。



先輩から受けつぎ後輩にバトンを渡す 一人となれていたなら光栄です

花輪 啓子 やまなし勤労者福祉会
共立介護福祉センターいけだ統括センター長



「おめでとうございます！未来のいしずえ賞の受賞が決まりました」突然の連絡でした。地方でただただ訪問看護の道をひた走ってきた私が、未来のいしずえ！そんな大それたこと、との思いがめぐり、はからずも、自分が何を思い、何をしてきたかに向き合う事となりました。1998年の訪問看護ステーション立ち上げから在宅分野に関わってきました。当時訪問看護は黎明期で理解がまだ浅く指示書を出していただけないこともありました。2000年に介護保険が始まり訪問看護は大きく伸びていきました。2015年に共立介護福祉センターいけだを立ち上げ、地域包括ケアの要と言われている定期巡回随時対応型訪問介護看護、看護小規模多機能型居宅介護と言う訪問看護以外に看護の名前が付いた事業に携わる事となりました。「この事業はすごい！面白い！」訪問看護師としての直感でした。生活の支えがなく在宅生活をあきらめてしまう事に訪問看護師として無力感を感じてきたこともあります。が、看護と介護が協働して24時間の生活を支え、訪問看護師として最期までかかわれるワクワクする事業でした。

2035年から2040年にかけて在宅療養はピークを迎えると言われており、災害や、新興感染症、単身高齢者の

増加、精神科や療育分野の増加等、訪問看護の役割はますます広がってくるのではないのでしょうか。時代の流れを読み、時代が求める看護に答えていかなければならないと思います。ぜひ多くの看護師たちにチャレンジャーになって欲しいと思います。

私が訪問看護を始めた頃は山梨県内の訪問看護ステーションは9か所でした。現在70を超えており、その歴史の中で先輩から受けつぎ後輩にバトンを渡す一人となっていたなら光栄です。この賞をいただくにあたりご尽力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



訪問先で
利用者さんと

介護職への
摂食嚥下の
講義風景



—— 創立50周年 ——
株式会社日本看護協会出版会

いつも“看護”とともに。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4F
TEL: 03-5778-5712 <https://www.jnapc.co.jp>



YAMANASHI NURSING ASSOCIATION



日本看護協会マスコット
「かんごちゃん」山梨県バージョン
「シャインマスカットかんごちゃん」です。
よろしくお願いします。

YAMANASHI NURSING ASSOCIATION



地域の皆様の暮らしを支えるために 加納岩総合病院 看護部長 高畑 圭子

加納岩総合病院は、令和元号の典拠となった万葉集の歌碑がある「万葉の森」の東側にあります。急性期・高齢者医療を担う（急性期病棟120床・地域包括ケア病棟40床）地域に根ざした病院です。

昨年創立70周年を迎え、地域の皆様方には感謝の思いでいっぱいです。

「退院した患者さんの暮らしが知りたい」という当時の看護部長の一言がきっかけとなり、平成7年から山梨市の保健師や社会福祉担当者、当院の退院支援担当者、病院看護課長ら計12人程で「病院地域看護連絡会議」が行なわれ現在に至っています。

最近、生活上の問題を抱えているケースが増えていきます。「家に帰りたい」の希望実現に向け、生活環境や暮らしを支え、治療が継続できるように、各々の立場で活発に意見交換・検討することで、より具体的な支援につなげることが出来ています。

2025年に向け、地域・福祉事業との連携をこれまで以上に大切にし「地域の皆様の暮らしを支え、頼りにされる病院」を目標に看護部全員で頑張ろうと考えています。



患者さんの「強み」を活かし、思いをかなえる病院へ 地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立北病院 精神科救急入院料病棟 塩島 清仁

当院は、188床の山梨県精神科基幹病院の役割を担っています。

特色として、精神科救急、児童思春期、依存症、認知症の看護に力を入れています。なかでも治療の同意が得られない場合に、倫理的視点で治療審査を行うシステムや、当院が構築した多飲症ケアは全国から注目を集めています。当院独自の精神科看護に特化した、ポイント制の段階別教育体制（ステップ）を整え、スタッフが楽しみながら学習できるシステムを活用しています。

看護部では、患者さんの強みに焦点を当てたストレスモデルの活用や、病気の再発を防ぐためクライシスプランの作成に取り組んでいます。ストレスモデルはその人らしい生き方に焦点を当て、問題ではなく夢や希望に目を向け、退院を目指す支援の在り方です。患者さんと多職種が本人の望む生活について共有し、退院後の生活が安心して送れるよう支援を行っています。入院中から、外来、デイケア、訪問看護ステーション、地域へと支援の輪を広げています。スタッフは様々な社会経験を持ち、多様な視点での看護を考えながら実践しています。

SERIES キャリアアップ への 耳寄り情報

CAREER

No.4

山梨県看護協会 教育部

山梨県で感染管理認定看護師 教育課程(B課程)が始まります



新型コロナウイルスが国内初確認から3年が経過しました。山梨県でも更なる感染管理のスペシャリスト育成に向け、山梨県立大学看護実践開発研究センターに「認定看護師教育課程感染看護分野(B課程)」が開設され、令和5年4月に開講します。特定行為研修を組み込んでいる教育課程となりますので、履修期間は12ヵ月間です。山梨県内の医療機関に勤務している看護師の方を対象にした山梨県の受講費用の助成も利用できます（詳細は山梨県福祉保健部医務課ホームページ参照）。県内受講が可能になりましたので、感染管理認定看護師を目指している方は応募していただきたいと思います。

※令和6年度の募集期間は、8月30日～9月20日の予定です。

ナースの ママ・パパ 奮闘記



父親の役割を日々模索しながら
仕事と子育てに奮闘している土田
さんをご紹介します。



家族3人、自宅にて

「父親としての役割を求めて」

山梨県立中央病院 土田 峻

昨年8月30日に待望の第一子が誕生し、父となりました。私自身がNICUで約4年勤務しているため、育児に対する不安というものはあまりありませんでした。しかし、いざ我が子との生活がスタートすると苦悩の連続で、最初の数週間は疲労困憊でした。なぜ泣いているのかもよくわからず、途方に暮れ、生活がぐると一変してしまいました。妻は休みなく育児をしている分、私よりも負担は大きかったと思います。

そんな妻の苦勞に対し、父親役割とはなんだろうと生後5ヶ月経った今でも悩むことがあります。育児参加はもちろんですが、家族が安心して暮らしていけるよう一層仕事も頑張らなくてはなりません。ただどちらかが育児を頑張り、どちらかが仕事を頑張るのではなく、どちらも共に家族3人で協力し合いながら、持ちつ持たれつの関係性を築いていければいいなと最近では思います。

娘が生まれたことで仕事にも良い影響がでています。「家族のために」と仕事に対するモチベーションは上がり、育児の大変さを経験できたことは看護の幅を広げることに繋がっています。産まれて数ヶ月の娘に多くのことを教えられ、職場での赤ちゃんへの関わり方も変化していると思います。

“父親の役割とは何なのか”なかなか答えのでもないのですが、どんなに仕事が多忙でも、どんなに育児が大変でも、まだ泣いていることの多い娘の笑顔のため、情けない父親の姿を見せないように奮闘していきたいです。

Topic&Information

峡南在宅医療支援センターの取り組み

峡南在宅医療支援センター 社会福祉士 川村 浩祥

峡南在宅医療支援センターは、峡南5町から「在宅医療・介護連携推進事業」を委託され、地域の多職種、各町地域包括支援センターと協働して各事業を実施しています。

その一つに、「峡南地域在宅医療・介護連携検討会」の開催があり、こちらは病院の看護師・連携室・リハビリ職の代表、ケアマネジャーの代表、地域包括支援センター、峡南保健福祉事務所が構成員となり、入退院時の連携について検討します。何度も検討を重ね、平成30年度に「峡南地域入退院時の病院とケアマネジャー連携ルールの手引き」を作成しました。

その後検討会は年1回開催とし、連携ルールの活用、周知状況や現状の連携等報告を踏まえ今後の連携について検討しています。

この他にも、多職種対象の研修会や地域住民公開講座等を開催したり、「峡南地域医療・介護情報」「在宅療養ガイド」「医療・介護マップ」といった情報ツールを作成していて、医療・介護関係者間の連携がスムーズに行えるよう業務にあたっています。



センター長(右)とセンター職員
(保健師募集中!)



早川町・身延町地域顔の見える関係づくり会

峡南在宅医療支援センター 電話:0556-42-6177

令和4年度 理事会報告

以下について承認されました。

第7回 令和5年1月17日(火)

協議事項

1. 令和5年度重点事業について
2. 令和4年度第2回地区支部長・役員合同会議について
3. 令和5年度理事会・地区支部長役員合同会議等開催
4. 訪問看護ステーション等組織規則の一部改正について
5. 令和5年度日本看護協会通常総会参加者について

第8回 令和5年2月14日(火)

協議事項

1. 令和5年度事業計画について
2. 令和4年度補正予算について

第9回 令和5年3月14日(火)

協議事項

1. 令和5年度資金収支予算及び収支予算について
2. 令和5年度事業計画について
3. 令和5年度地区支部事業計画について
4. 令和5年度地区支部収支予算について
5. 令和5年度常任・特別委員会諮問事項について
6. 令和5年度山梨県看護協会通常総会プログラムについて
7. 令和4年度補正予算について
8. 委員会規則の一部改正について

山梨県看護協会 INFORMATION



公益社団法人 山梨県看護協会

令和5年度

通常総会を開催します

＊開催日時 令和5年6月23日(金) 午後1:30～ ＊会場 山梨県看護教育研修センター

- 研修が受けやすくなります。
日本看護協会とも連動します。
会員の生涯学習のサポートをします。

研修管理システムの運用について

山梨県看護協会で開催の研修会に係る申し込みから個人履歴管理等について、令和6年(2024)4月より運用開始となります。今年度は、会員の皆様がスムーズに研修を受けることができるようにシステム運用の周知、準備を行います。ご理解、ご協力をお願いします。

■ 第45回看護大会 開催決定

日時：5月12日(金) 午後2時～3時30分

場所：アピオ甲府 参加人数：200人

内容：一部 表彰 看護功労者知事表彰

県民の看護師さん表彰

二部 記念講演 山梨県知事 長崎幸太郎氏

「安心・豊かさを実感できる山梨」に向かって
今看護職に期待すること

みなさまの
参加をお願いします

■ 令和5年度改選役員及び職能委員・推薦委員立候補について

改選役職名と改選数

1. 役員11人
会長候補者1人 副会長候補者1人
理事3人(専務理事1人、保健師職能理事1人、准看護師理事1人)
地区理事5人(中北3人、峡北1人、峡東1人)
監事1人
2. 推薦委員6人
3. 職能委員12人(保健師職能5人、助産師職能2人、看護師職能5人)

立候補する会員は、正会員5人の推薦を受けて、届け出用紙を推薦委員長あてに郵送してください。4月21日までに厳守でお願い致します。用紙は、所属看護管理者に送付してあります。

お気に入りの一枚



山梨百名山の太菩薩嶺での山登りでの一コマです。山登りで自然を楽しみ、美味しい空気の中、深呼吸をしてリフレッシュすることがコロナ禍の楽しみです。

投稿者：小松 美穂
(春日居サイバーナイフリハビリ病院)

※このコーナーでは、会員の皆様から「お気に入りの一枚」を募集しています。ペットに限らずご提供よろしくお願ひします。
送信先：senm@yna.or.jp 広報担当

ほっと！
いやされて！

【表紙スナップ】 富士吉田市立看護専門学校



入学定員50名3年課程の看護専門学校です。
ほぼ全員が山梨県内に就職しています。

編集後記

春は、別れもあり新たな出会いの季節ですが、協会の皆様いかがお過ごしですか。新年度を迎え、より一層皆様に役立つ情報が提供出来ますように努力していきます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。